

# 2020東京大会・日本博を契機とした 障害者の文化芸術フェスティバル ーグランドオープニングー

「日本人と自然」を障害者の視点を通して国内外に発信する、文化芸術フェスティバルのグランドオープニングをアメニティーフォーラム24と連携開催します。障害者の芸術表現、そして障害者が自身の特性とともに生きる様には、日本人が縄文時代から持つ、四季折々の天然の色彩、音の風情を慈しむ心が強く滲み出ています。アメニティーフォーラムにご参加される皆さまの、本フェスティバルへのご来場を心よりお待ちしております。本フェスティバルはグランドオープニングを経て、全国の50万人及び厚生労働省と連携して、2020年から全国7カ所で開催しますので、全国の各会場にも是非お越しください。

料金：3日間共通バスポート 2,000円／単独チケット 500円(展覧会のみ、ワールドフォーラムのみ等、一プログラム対象。当日限り有効。映画は一作品ずつ。)  
共通機器貸出料 1,000円(2日間有効) ※アメニティーフォーラム参加者はアメニティーフォーラム参加証(名札)の提示で入場いただけます。

## 障害者の舞台芸術見本市

### 8日(土) プリンスホール

11:00～12:00  
瑞宝太鼓(長崎県)



13:00～14:00  
生笑一座(福岡県)



14:15～15:15  
(調整中)

15:45～16:45  
サルサ・ガムテブ(神奈川県)



17:00～17:20  
口笛 白井いさお(大阪府)



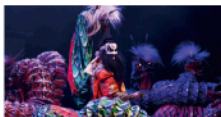
17:30～19:30  
表現するということ  
一消える言葉、生まれる声ー



小室等(ボーカル、ギター)坂田明(サクソフォン)  
谷川賢作(ピアノ)吉田隆一(サクソフォン)  
高良久美子(ハカティ)竹田裕美子(ササキ)  
こむろゆい(ボーカル、ウクレレ)  
ゲスト:福島智(東京大学先端科学技術センター教授)、湖南ダンスカンパニー、ほか  
ミュージシャンの小室等が、障害の有無に関わらず、人間がもつ表現の魅力と可能性を多彩なゲストを迎えてひとときます。盲ろう者の福島智が作詞作曲、小室等と共同制作した新作を発表

### 9日(日)

13:30～14:30  
石見神楽 いわみ福祉会  
芸能クラブ(鳥根県)



14:45～15:45  
湖南ダンスカンパニー(滋賀県)



## アール・ブリュットワールドフォーラム

### 7日(金)

13:00～13:15 オープニング 三日月大造(滋賀県知事)《予定》

13:25～15:10 セッション①  
公共政策と芸術  
プレゼンテーション  
マルティヌ・リュザルディ(パリ市立アル・サン・ピエール美術館長)  
ジェイド・フレンチ(リーズ大学美術・美術史・文化研究学部客員研究員)  
太下義之(文化政策研究者、独立行政法人国立美術館理事)

15:30～15:50 《報告 障害者の芸術文化 全国取り組み》  
福島民友新聞 2020年福島でのアール・ブリュット展  
モデレーター:西川賢司(社福)グロー(GLOW)

16:00～18:10 セッション②  
アール・ブリュットとは何か  
特別講演  
コリン・ロードス(シドニー大学美術史学・美術理論名誉教授)

18:10～ 平山秀幸監督トーク  
『閉鎖病棟』

21:05～22:26  
『オキナワへいこう』

22:30～ 大西暢夫監督トーク  
『インディペンデントリビング』

22:45～24:23  
『インディペンデントリビング』

24:23～ 大西暢夫監督トーク  
『インディペンデントリビング』

24:23～ 大西暢夫監督トーク  
『インディペンデントリビング』

24:23～ 大西暢夫監督トーク  
『インディペンデントリビング』

24:23～ 大西暢夫監督トーク  
『インディペンデントリビング』

24:23～ 大西暢夫監督トーク  
『インディペンデントリビング』

24:23～ 大西暢夫監督トーク  
『インディペンデントリビング』

24:23～ 大西暢夫監督トーク  
『インディペンデントリビング』

24:23～ 大西暢夫監督トーク  
『インディペンデントリビング』

24:23～ 大西暢夫監督トーク  
『インディペンデントリビング』

24:23～ 大西暢夫監督トーク  
『インディペンデントリビング』

24:23～ 大西暢夫監督トーク  
『インディペンデントリビング』

24:23～ 大西暢夫監督トーク  
『インディペンデントリビング』

24:23～ 大西暢夫監督トーク  
『インディペンデントリビング』

24:23～ 大西暢夫監督トーク  
『インディペンデントリビング』

24:23～ 大西暢夫監督トーク  
『インディペンデントリビング』

24:23～ 大西暢夫監督トーク  
『インディペンデントリビング』

24:23～ 大西暢夫監督トーク  
『インディペンデントリビング』

24:23～ 大西暢夫監督トーク  
『インディペンデントリビング』

## バリアフリー映画祭2020

### 7日(金)

12:30～ 開場

13:00～15:07  
『機き逃げ』

15:10～ 水谷豊監督トーク

16:10～18:07  
『閉鎖病棟』

18:10～ 平山秀幸監督トーク

21:05～22:26  
『オキナワへいこう』

22:30～ 大西暢夫監督トーク

22:45～24:23  
『インディペンデントリビング』

24:23～ 大西暢夫監督トーク

24:23～ 大西暢夫監督トーク

24:23～ 大西暢夫監督トーク

24:23～ 大西暢夫監督トーク

24:23～ 大西暢夫監督トーク

24:23～ 大西暢夫監督トーク

24:23～ 大西暢夫監督トーク

24:23～ 大西暢夫監督トーク

24:23～ 大西暢夫監督トーク

24:23～ 大西暢夫監督トーク

24:23～ 大西暢夫監督トーク

24:23～ 大西暢夫監督トーク

24:23～ 大西暢夫監督トーク

24:23～ 大西暢夫監督トーク

24:23～ 大西暢夫監督トーク

24:23～ 大西暢夫監督トーク

24:23～ 大西暢夫監督トーク

24:23～ 大西暢夫監督トーク

24:23～ 大西暢夫監督トーク

24:23～ 大西暢夫監督トーク

## コンベンションホール 淡海10

## アール・ブリュット ワールドフォーラム

2020年2月 7日(金) 13:00～18:10  
8日(土) 9:15～18:45

【日・英同時通訳あり】

世界各国からアール・ブリュットの推進に取り組む実践者を招へいし、2020年以降の国際的なネットワーク構築に向けての議論その成果を広く国内に発信します。

青柳正規  
Masanori Aoyagi (Japan)  
文化庁前長官、山梨県立美術館館長  
Former Commissioner for Cultural Affairs,  
Director of Yamanashi Prefectural Museum of Art

## 本館 2F 比叡

## バリアフリー映画祭 2020

2020年2月 7日(金)～9日(日)

目や耳が不自由な人たちが、人生を豊かにする娯楽のひとつである映画の鑑賞に親しめるよう映画のバリアフリー化に取り組始めて15年が経ちます。

この間UDCastという映画の新しい鑑賞技術を開発し、手持ちのiPhoneやメガネ型端末などを使って、バリアフリー字幕だけでなく多言語字幕や音声ガイドを同期させ提供する仕組みも定着してきました。

そして今や、バリアフリー映画は映画の未来形のひとつとして、映画表現をより多面的、立体的に深化させるところまで来ています。映画の誕生からまだ125年しか経っていないその浅い歴史を振り返ってみても、限りない可能性を持ったものが映画だと考えています。

「バリアフリー」は単なる情報保障の方法ではなく、私たちの文化の明日を拓く思想だと思っています。

(映画祭プロデューサー 山上徹二郎)

信楽は狸の焼物で知られる窯業の里。この町を支えるのは、「知恵おくれ」と呼ばれる人びと。彼らは106人、町の全就労者の5%を占めるといわれ、多くは小さな家内製陶所で働く。そんな彼らのほとんどが住む「信楽青年寮」にスタッフが7ヵ月住み込んで、この映画は作られた。彼らが働く世界を決して「能力」や「能率」という視点で視ることはせず、人が人とかかわり一緒に生きている世界を記録した作品である。1990年の、製作当時の表現のままとしています。)

しらがきから吹いてくる風

監督:西山正啓  
音楽:小室等  
製作:山上徹二郎  
1990/日本/91分

◎1990 シグロ

信楽は狸の焼物で知られる窯業の里。この町を支えるのは、「知恵おくれ」と呼ばれる人びと。彼らは106人、町の全就労者の5%を占めるといわれ、多くは小さな家内製陶所で働く。そんな彼らのほとんどが住む「信楽青年寮」にスタッフが7ヵ月住み込んで、この映画は作られた。彼らが働く世界を決して「能力」や「能率」という視点で視ることはせず、人が人とかかわり一緒に生きている世界を記録した作品である。1990年の、製作当時の表現のままとしています。)

しらがきから吹いてくる風

監督:西山正啓  
音楽:小室等  
製作:山上徹二郎  
1990/日本/91分

◎1990 シグロ

信楽は狸の焼物で知られる窯業の里。この町を支えるのは、「知恵おくれ」と呼ばれる人びと。彼らは106人、町の全就労者の5%を占めるといわれ、多くは小さな家内製陶所で働く。そんな彼らのほとんどが住む「信楽青年寮」にスタッフが7ヵ月住み込んで、この映画は作られた。彼らが働く世界を決して「能力」や「能率」という視点で視ることはせず、人が人とかかわり一緒に生きている世界を記録した作品である。1990年の、製作当時の表現のままとしています。)

しらがきから吹いてくる風

監督:西山正啓  
音楽:小室等  
製作:山上徹二郎  
1990/日本/91分

◎1990 シグロ

信楽は狸の焼物で知られる窯業の里。この町を支えるのは、「知恵おくれ」と呼ばれる人びと。彼らは106人、町の全就労者の5%を占めるといわれ、多くは小さな家内製陶所で働く。そんな彼らのほとんどが住む「信楽青年寮」にスタッフが7ヵ月住み込んで、この映画は作られた。彼らが働く世界を決して「能力」や「能率」という視点で視ることはせず、人が人とかかわり一緒に生きている世界を記録した作品である。1990年の、製作当時の表現のままとしています。)

## セッション① 公共政策と芸術

マルティヌ・リュザルディ  
Martine Lusardy (France)  
パリ市立アル・サン・ピエール美術館長  
Director of Halle Saint Pierre Museum

セッション② アール・ブリュットとは何か

コリン・ロードス  
Colin Rhodes (Australia)  
シドニー大学美術史学・美術理論名誉教授  
Honorary Professor of Art History & Theory at the University of Sydney

セッション④ アール・ブリュット、現代アートと町

北村成美  
Shigemi Kitamura (Japan)  
ダンサー・振付家  
Dancer and Choreographer

セッション⑤ 日本政府が推進する障害者の文化芸術施策、そして日本博について

杉浦久弘  
Hisahiro Sugiura (Japan)  
文化庁審議官  
Director-General,  
Agency for Cultural Affairs

セッション⑥ 評価してこなかったものを評価すること

水谷豊(みずたに・ゆたか)  
1952年7月14日生まれ、北海道出身。代表作はドラマ「傷だらけの天使」(74/NTV)、「相棒」(00～/EX)など。映画では『青春の殺人者』(76/キネマ旬報主演男優賞受賞)、『王妃の館』(15)などがある。ITAP-THE LAST SHOW-『(17)では初監督に挑み、主演も務めた。

アメリティーフォーラム  
オープニングトーク  
平山秀幸  
1950年9月18日生まれ、北九州市出身。『マリアの胃袋』(90)で監督デビュー。『ザ・中学教師』(92)で日本映画監督協会新人賞を受賞。『愛をさうと』(98)で日本アカデミー賞最優秀監督賞始め数々の賞を獲得。『笑う蛙』(02)、『必死剣 鳥刺し』(10)、『エヴェレスト神々の山嶺』(16)などがある。

オープニング  
作品  
機き逃げ 最高の最悪な日

監督:脚本:水谷 豊  
出演:中山麻聖 石田法嗣  
小林涼子 毎熊克哉  
水谷豊 榎み 岸部一徳  
2019/日本/117分  
◎2019映画「機き逃げ」製作委員会

ある地方都市で起きた交通事故。一人の女性が命を落とし、機き逃げ事件へと変わる。車を運転していた青年・宗方、助手席に乗っていた親友・森田。二人は宗方の結婚式の打合せに急いでいた。婚約者は大手セネコン副社長の娘・白河。悲しみにくれる被害者の両親。その事件を担当するベテラン刑事・柳と新米刑事・前田。平穏な日常から否応なく事件に巻き込まれ、それぞれの人生が複雑に絡み合い、抱える心情が浮き彫りになっていく。その悲劇の先に、彼らは何を見つけれられるのか?

長野県のとある精神科病院。死刑執行が失敗し生きながらえた秀丸(笑福亭鶴瓶)。幻聴に悩まされるチュウさん(綾野 剛)。DVが原因で入院する由紀(小松菜奈)。三人は家族や世間から遠ざけられながらも心を通いあわせる。彼らの日常に影を落とす衝撃的な事件はなぜ起きたのか。それでも「今」を生きていく理由とはなにか。法廷で明かされる真実が、これそれような人生を夜明けへと導く――。

しらがきから吹いてくる風

監督:西山正啓  
音楽:小室等  
製作:山上徹二郎  
1990/日本/91分

◎1990 シグロ

信楽は狸の焼物で知られる窯業の里。この町を支えるのは、「知恵おくれ」と呼ばれる人びと。彼らは106人、町の全就労者の5%を占めるといわれ、多くは小さな家内製陶所で働く。そんな彼らのほとんどが住む「信楽青年寮」にスタッフが7ヵ月住み込んで、この映画は作られた。彼らが働く世界を決して「能力」や「能率」という視点で視ることはせず、人が人とかかわり一緒に生きている世界を記録した作品である。1990年の、製作当時の表現のままとしています。)

しらがきから吹いてくる風

監督:西山正啓  
音楽:小室等  
製作:山上徹二郎  
1990/日本/91分

◎1990 シグロ

信楽は狸の焼物で知られる窯業の里。この町を支えるのは、「知恵おくれ」と呼ばれる人びと。彼らは106人、町の全就労者の5%を占めるといわれ、多くは小さな家内製陶所で働く。そんな彼らのほとんどが住む「信楽青年寮」にスタッフが7ヵ月住み込んで、この映画は作られた。彼らが働く世界を決して「能力」や「能率」という視点で視ることはせず、人が人とかかわり一緒に生きている世界を記録した作品である。1990年の、製作当時の表現のままとしています。)

しらがきから吹いてくる風

監督:西山正啓  
音楽:小室等  
製作:山上徹二郎  
1990/日本/91分

◎1990 シグロ

ジェイド・フレンチ  
Jade French (UK)  
リーズ大学美術・美術史・文化研究学部客員研究員  
Visiting Research Fellow, School of Fine Art, History of Art and Cultural Studies, University of Leeds

セッション② アール・ブリュットとは何か

スエブソン・サンワチラピバン  
Suebsang Sangwachirapiban (Thailand)  
バンコク芸術文化センター学芸部長  
Head of Exhibition Department,  
Bangkok Art and Culture Center

セッション④ アール・ブリュット、現代アートと町

横井悠  
Yu Yokoi (Japan)  
ボーダレス・アートミュージアムNO-MA主任学芸員  
Chief Curator, Borderless Art Museum NO-MA

セッション⑤ 日本政府が推進する障害者の文化芸術施策、そして日本博について

野村知司  
Satoshi Nomura (Japan)  
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課課長  
Director, Policy Planning Division, Department of Health and Welfare for Persons with Disabilities, Ministry of Health, Labour and Welfare

セッション⑥ 評価してこなかったものを評価すること

大西暢夫(おおにし・のぶお)

病棟、障害者、東日本大震災など、社会的なテーマにレンズを向け続けている。写真集の他著書多数、ドキュメンタリー映画の監督も務める。

オープニング  
作品  
機き逃げ 最高の最悪な日

監督:脚本:平山秀幸  
出演:笑福亭鶴瓶  
綾野剛 小松菜奈  
2019/日本/117分  
◎2019「閉鎖病棟」製作委員会  
◎H. Hahakigi / Sncs

ある地方都市で起きた交通事故。一人の女性が命を落とし、機き逃げ事件へと変わる。車を運転していた青年・宗方、助手席に乗っていた親友・森田。二人は宗方の結婚式の打合せに急いでいた。婚約者は大手セネコン副社長の娘・白河。悲しみにくれる被害者の両親。その事件を担当するベテラン刑事・柳と新米刑事・前田。平穏な日常から否応なく事件に巻き込まれ、それぞれの人生が複雑に絡み合い、抱える心情が浮き彫りになっていく。その悲劇の先に、彼らは何を見つけれられるのか?

長野県のとある精神科病院。死刑執行が失敗し生きながらえた秀丸(笑福亭鶴瓶)。幻聴に悩まされるチュウさん(綾野 剛)。DVが原因で入院する由紀(小松菜奈)。三人は家族や世間から遠ざけられながらも心を通いあわせる。彼らの日常に影を落とす衝撃的な事件はなぜ起きたのか。それでも「今」を生きていく理由とはなにか。法廷で明かされる真実が、これそれような人生を夜明けへと導く――。

しらがきから吹いてくる風

監督:西山正啓  
音楽:小室等  
製作:山上徹二郎  
1990/日本/91分

◎1990 シグロ

信楽は狸の焼物で知られる窯業の里。この町を支えるのは、「知恵おくれ」と呼ばれる人びと。彼らは106人、町の全就労者の5%を占めるといわれ、多くは小さな家内製陶所で働く。そんな彼らのほとんどが住む「信楽青年寮」にスタッフが7ヵ月住み込んで、この映画は作られた。彼らが働く世界を決して「能力」や「能率」という視点で視ることはせず、人が人とかかわり一緒に生きている世界を記録した作品である。1990年の、製作当時の表現のままとしています。)

しらがきから吹いてくる風

監督:西山正啓  
音楽:小室等  
製作:山上徹二郎  
1990/日本/91分

◎1990 シグロ

信楽は狸の焼物で知られる窯業の里。この町を支えるのは、「知恵おくれ」と呼ばれる人びと。彼らは106人、町の全就労者の5%を占めるといわれ、多くは小さな家内製陶所で働く。そんな彼らのほとんどが住む「信楽青年寮」にスタッフが7ヵ月住み込んで、この映画は作られた。彼らが働く世界を決して「能力」や「能率」という視点で視ることはせず、人が人とかかわり一緒に生きている世界を記録した作品である。1990年の、製作当時の表現のままとしています。)

しらがきから吹いてくる風

監督:西山正啓  
音楽:小室等  
製作:山上徹二郎  
1990/日本/91分

◎1990 シグロ

太下義之  
Yoshiyuki Oshita (Japan)  
文化政策研究者、独立行政法人国立美術館理事  
Researcher of Cultural Policy, Director of Independent Administrative Institution National Museum of Art

セッション② アール・ブリュットとは何か

トーマス・レスケ  
Thomas Röske (Germany)  
プリンツホルンコレクションディレクター  
Director of the Prinzhorn Collection Museum

セッション④ アール・ブリュット、現代アートと町

エマーソン・クンシェン・ワン  
Emerson Kun-sheng WANG (Taiwan)  
Presense International Inc.芸術監督  
Artistic Director, Presense International Inc.

セッション⑤ 日本政府が推進する障害者の文化芸術施策、そして日本博について

保坂健二朗  
Kenjiro Hosaka (Japan)  
東京国立近代美術館主任研究員  
Chief Researcher, The National Museum of Modern Art, Tokyo

セッション⑥ 評価してこなかったものを評価すること

大森立嗣(おおもり・たつし)

1970年東京都出身。2005年「ゲルマニウムの夜」で監督デビュー。ロカルノ国際映画祭など映画祭に正式出品、高い評価を受ける。「ケンタとジュンとカヨちゃんの国」(10)で日本映画監督協会新人賞受賞。『日日は好日』(18)で報知映画賞監督賞を受賞する。

オープニング  
作品  
機き逃げ 最高の最悪な日

監督:撮影・編集:大西暢夫  
2018/日本/81分  
◎大西暢夫/  
NPO法人kokoima

ある地方都市で起きた交通事故。一人の女性が命を落とし、機き逃げ事件へと変わる。車を運転していた青年・宗方、助手席に乗っていた親友・森田。二人は宗方の結婚式の打合せに急いでいた。婚約者は大手セネコン副社長の娘・白河。悲しみにくれる被害者の両親。その事件を担当するベテラン刑事・柳と新米刑事・前田。平穏な日常から否応なく事件に巻き込まれ、それぞれの人生が複雑に絡み合い、抱える心情が浮き彫りになっていく。その悲劇の先に、彼らは何を見つけれられるのか?

長野県のとある精神科病院。死刑執行が失敗し生きながらえた秀丸(笑福亭鶴瓶)。幻聴に悩まされるチュウさん(綾野 剛)。DVが原因で入院する由紀(小松菜奈)。三人は家族や世間から遠ざけられながらも心を通いあわせる。彼らの日常に影を落とす衝撃的な事件はなぜ起きたのか。それでも「今」を生きていく理由とはなにか。法廷で明かされる真実が、これそれような人生を夜明けへと導く――。

しらがきから吹いてくる風

監督:西山正啓  
音楽:小室等  
製作:山上徹二郎  
1990/日本/91分

◎1990 シグロ

信楽は狸の焼物で知られる窯業の里。この町を支えるのは、「知恵おくれ」と呼ばれる人びと。彼らは106人、町の全就労者の5%を占めるといわれ、多くは小さな家内製陶所で働く。そんな彼らのほとんどが住む「信楽青年寮」にスタッフが7ヵ月住み込んで、この映画は作られた。彼らが働く世界を決して「能力」や「能率」という視点で視ることはせず、人が人とかかわり一緒に生きている世界を記録した作品である。1990年の、製作当時の表現のままとしています。)

しらがきから吹いてくる風

監督:西山正啓  
音楽:小室等  
製作:山上徹二郎  
1990/日本/91分

◎1990 シグロ

信楽は狸の焼物で知られる窯業の里。この町を支えるのは、「知恵おくれ」と呼ばれる人びと。彼らは106人、町の全就労者の5%を占めるといわれ、多くは小さな家内製陶所で働く。そんな彼らのほとんどが住む「信楽青年寮」にスタッフが7ヵ月住み込んで、この映画は作られた。彼らが働く世界を決して「能力」や「能率」という視点で視ることはせず、人が人とかかわり一緒に生きている世界を記録した作品である。1990年の、製作当時の表現のままとしています。)

しらがきから吹いてくる風

監督:西山正啓  
音楽:小室等  
製作:山上徹二郎  
1990/日本/91分

◎1990 シグロ

ジャン＝マルク・エロー  
Jean-Marc Ayrault (France)  
フランス元首相、ナント市名誉市長  
Former Prime Minister of France,  
Honorary Mayor of Nantes

セッション② アール・ブリュットとは何か